



秋の始まり

「危険な暑さ」と報道される程異常な暑さと、大雨・洪水・土砂崩れ、更には熱中症が多発し、次々に南の海上で発生する台風への備えなど、激しかった夏が終わろうとしています。

7月のプール開き以来、8月17日のプール閉いまで、殆ど毎日こどもたちの歓声と共にあった屋上のプールは、さくら組の皆にピカピカに磨かれて、今はもうステージの下で眠っています。

「たんぽぽさんともここで遊んだよね」とヒソヒソ語り合いながら真剣にプールの掃除に打ち込む様子を見ていると、来年の夏へつながる優しい思いが伝わって来て、外気温は36度の猛暑にもかかわらず、心はほんわかあったかい夏のしめくくりを迎えることができました。

長い夏日の遊びを通して、こどもたちが培って来た体力と強くてあったかい絆は、きつと実りの秋へとつながって行くに違いありません。

既にご案内の通り、9月14日にはうめ組・もも組・さくら組がおじいちゃんおばあちゃんありがどうの思いを込めて敬老会を行います。ここでもご家族それぞれの強くてあたたかい絆を感じさせていただくことができました。

ご案内は例によってお子たちを通じて保護者様あてでしたのに、当日は80名に及ぶおじいちゃんおばあちゃんあてが来て下さることになりました。

また、おじいちゃんおばあちゃんへのハガキや封書のあて名書きにもご協力いただいていますこと、本当にありがとうございます。

10月に入ると早々の10月8日、「松の実ファミリー運動会」を行います。

春4月から、松の実の教育プログラムに添って積み上げて来た「運動」の分野で得た達成感をもう一度味わわせてあげたい運動会です。

活発に運動するには体力・集中力・注意力・判断力が必要です。

また、友だちと一緒に運動や遊びを楽しむ中で、協調性や社会性を学んだり、体験を共有して励まし合ったり、助け合ったりする温かい絆が確かなものになっていきます。

一方、時にぶつかり合うことで自分を意識することから始まる、思いやりの心がしっかりと育まれていきます。

寝返り、ハイハイから始まって、立つ・歩く・走る・跳ぶ・投げるなどなど、こどもたちが運動を続けることによって獲得する生きる力は多々ありますが、理屈抜きにご家族揃って運動会に参加頂き、運動の心地良さがあったかファミリーの絆を感じながら

「こどもが主役・親も主役」で「親子・孫、みんなで楽しむこども園」を堪能していただきたいと願っています。

実りの秋・スポーツの秋  
始まりの9月を迎えます。

園長 福田孝子